

しょうひんめい

商品名：アクチビア軟膏

(ACTIVIR Ointment)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう

製品概要

こうのう

[効能]

口唇ヘルペスの再発（過去に医師の診断・治療を受けた方に限る。）

せいぶん さよう

[成分と作用]

アクチビア 1 g 中に、次の成分を含んでいます。

せいぶん 成分	がんにょう 含量	さよう 作用
アシクロビル	50mg	ヘルペスウイルスの増殖を抑えます。

ようほう ようりよう

[用法・用量]

1日3～5回、適量を患部に塗布する。

（唇やそのまわりに、ピリピリ・チクチクなどの違和感をおぼえたら、すぐに塗布する。）

かいせつ

解説

- ・ピリピリ・チクチクといった感覚は、口唇ヘルペスの再発のきざしです。このような再発の初期から使用してください。
- ・使用時期は、毎食後、就寝前などの使用が目安です。
- ・家族で初めて発症したと思われる人が、誤ってこの薬を使用しないよう、十分注意してください。

<用法・用量に関する注意>

- ・定められた用法・用量を、厳守してください。
- ・小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに、使用させてください。
- ・目に入れないように、注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
- ・外用のみに、使用してください。
- ・口に入っても害はありませんが、なるべく、口に入れたり、なめたりしないでください。

しょうじょう ちゅうい

使用上の注意

下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

（守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。）

1. 次の人には、使用しないでください。

- (1) 初めて発症したと思われる人、患部が広範囲の人（初めて発症した場合は症状がひどくなる可能性があり、患部が広範囲に及ぶ場合は重症ですので、医師の治療を受けてください。）
- (2) 本剤又は塩酸バラシクロビル製剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人（本剤の使用により、再びアレルギー症状を起こす可能性があります。）
- (3) 6歳未満の乳幼児（乳幼児の場合、初めて感染した可能性が高いと考えられます。）

2. 次の部位には、使用しないでください。

- (1) 目や目の周囲（目に入って刺激を起こす可能性があります。）
- (2) 唇 とそのまわりをのぞく部位（口唇ヘルペスは 唇 及びその周囲にできるものです。）

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師の治療を受けている人（医師から処方されている 薬 に影響したり、本剤と同じ 薬 を使用する可能性もあります。）
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人（薬の使用には慎重を期し、専門医に相談して指示を受ける必要があります。）
- (3) 授乳中の人（同じ成分の医療用の内服薬で、乳汁への移行が確認されています。）
- (4) 本人又は家族が、アレルギー体質の人（アレルギー体質の人は、本剤の使用により、アレルギー症状を起こす可能性があります。）
- (5) 薬により、アレルギー症状を起こしたことがある人（何らかの薬でアレルギーを起こした人は、本剤でも起こる可能性があります。）
- (6) 浸潤やただれがひどい人（症状がひどい場合は、専門医に相談して指示を受ける必要があります。）
- (7) アトピー性皮膚炎の人（重症化する可能性がありますので、専門医に相談して指示を受ける必要があります。）

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 使用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、はれ、かゆみ、かぶれ、刺激感、疼痛、乾燥、灼熱感、落屑（フケ・アカのような皮膚のはがれ）、じんましん

- (2) 7日間位使用しても症状がよくなりえない場合（7日間位使用しても症状の改善がみられないときは、症状が重いか他の疾病によるものと考えるべきで、なるべく早く医師又は薬剤師に、相談してください。）

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない30℃以下の涼しい所に、密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) 使用前後に、よく手を洗ってください。
- (4) 他の容器に、入れ替えないでください。（誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。）
- (5) 使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は、6ヶ月以内に使用してください。（品質保持のため）

出典 製造販売元：グラクソ・スミスクライン株式会社
 発行 （社）神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

なんこう

商品名：ヘルペシア軟膏（HERPECIA Ointment）

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう

製品概要

こうのう

[効能]

口唇ヘルペスの再発（過去に医師の診断・治療を受けた方に限る。）

せいぶん きよう

[成分と作用]

ヘルペシア 1 g 中に、次の成分を含んでいます。

成分	含量	作用
アシクロビル	50mg	ヘルペスウイルスの増殖を抑えます。

ようほう ようりよう

[用法・用量]

1日3～5回、適量を患部に塗布する。

（唇やそのまわりに、ピリピリ・チクチクなどの違和感をおぼえたら、すぐに塗布する。）

かいせつ

解説

- ・ピリピリ・チクチクといった感覚は、口唇ヘルペスの再発のきざしです。このような再発の初期から使用してください。
- ・使用時期は、毎食後、就寝前などの使用が目安です。
- ・家族で初めて発症したと思われる人が、誤ってこの薬を使用しないよう、十分注意してください。

<用法・用量に関する注意>

- ・定められた用法・用量を、厳守してください。
- ・小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに、使用させてください。
- ・目に入れないように、注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
- ・外用のみに、使用してください。
- ・口に入っても害はありませんが、なるべく、口に入れたり、なめたりしないでください。

しょうじょう ちゅうい

使用上の注意

下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

（守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。）

1. 次の人には、使用しないでください。

- （1）初めて発症したと思われる人、患部が広範囲の人（初めて発症した場合は、症状がひどくなる可能性があり、患部が広範囲に及ぶ場合は重症ですので、医師の治療を受けてください。）
- （2）本剤、又は、塩酸バラシクロビル製剤によるアレルギー症状を、起こしたことがある人（本剤の使用により、再びアレルギー症状を、起こす可能性があります。）
- （3）6歳未満の乳幼児（乳幼児の場合、初めて感染した可能性が高いと、考えられます。）

2. 次の部位には、使用しないでください。

- (1) 目や目の周囲（目に入って、刺激を起こす可能性があります。）
- (2) 唇とそのまわりをのぞく部位（口唇ヘルペスは、唇及びその周囲にできるものです。）

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に、医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師の治療を受けている人（医師から処方されている薬に影響したり、本剤と同じ薬を使用する可能性もあります。）
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人（薬の使用には慎重を期し、専門医に相談して指示を受ける必要があります。）
- (3) 授乳中の人（同じ成分の医療用の内服薬で、乳汁への移行が確認されています。）
- (4) 本人又は家族が、アレルギー体質の人（アレルギー体質の人は、本剤の使用により、アレルギー症状を起こす可能性があります。）
- (5) 薬により、アレルギー症状を起こしたことがある人（何らかの薬でアレルギーを起こした人は、本剤でも起こる可能性があります。）
- (6) 浸潤やただれがひどい人（症状がひどい場合は、専門医に相談して指示を受ける必要があります。）
- (7) アトピー性皮膚炎の人（重症化する可能性がありますので、専門医に相談して指示を受ける必要があります。）

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って、医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 使用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、はれ、かゆみ、かぶれ、刺激感、疼痛、乾燥、灼熱感、落屑（フケ・アカのような皮膚のはがれ）、じんましん

（本剤によるアレルギー症状であるか、本剤の薬理作用が強くあらわれたものであると考えられ、このような場合、同じ薬を続けて使用すると症状がさらに悪化するおそれがあります。）

- (2) 7日間位使用しても症状がよくなる場合（7日間位使用しても症状の改善がみられないときは、症状が重いか他の疾病によるものと考えるべきで、なるべく早く、医師又は薬剤師に相談してください。）

保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない30℃以下の涼しい所に、密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) 使用前後に、よく手を洗ってください。
- (4) 他の容器に、入れ替えないでください。（誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。）
- (5) 使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は、6ヶ月以内に使用してください。（品質保持のため）

製造販売元



大正製薬株式会社

出典
発行

（社）神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

じょうざい

商品名:エスタックイブファイン <錠 剤> (S.TAC EVE FINE <Tablet>)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう

製品概要

こうのう

[効能]

かぜの諸症状（発熱、悪寒、せき、たん、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、頭痛、
関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

[成分と作用]

9錠（成人1日量）中

成分	含量	作用
イブプロフェン	450mg	発熱、頭痛、のどの痛み等、熱と痛みをしずめます。
アンブロキソール塩酸塩	45mg	せきの原因となるのどにからまるしつこいせきを出しやすくします。
ヨウ化イソプロパミド	6mg	鼻みずをおさえます。
ジヒドロコデインリン酸塩	24mg	せき中枢にはたらき、せきをしずめます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	気管支を広げ、呼吸を楽にして、せきをしずめます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg	くしゃみ、鼻みず、鼻づまりの症状をおさえます。
無水カフェイン	75mg	頭痛をしずめます。
アスコルビン酸（ビタミンC）	300mg	かぜの時に消耗しやすいビタミンを補給します。
チアミン硝化物（ビタミンB1硝酸塩）	24mg	

ようほうようりよう

[用法・用量]

次の1回量を1日3回、食後なるべく30分以内に服用します。

年齢	1回量
成人（15才以上）	3錠
15才未満	服用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 用法、用量を遵守してください。

しょうじょうちゅうい

使用上の注意

下記の注意をよく読んで正しくお使いください。

■ してはいけないこと

（守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。）

1. 次の人は、服用しないでください。

- 本剤によるアレルギー症状を、起こしたことがある人
- 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛剤を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- 15才未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン薬を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、
 乗物酔い薬、アレルギー用薬）
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
 （眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがあります。）
4. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳をさけてください。
5. 服用時は飲酒しないでください。
6. 5日間を越えて服用しないでください

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に、医師又は薬剤師に相談してください。
- 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の症状がある人
高熱、排尿困難
 - 次の診断を受けた人
高血圧、心臓病、糖尿病、緑内障、肝臓病、腎臓病、甲状腺機能障害、
全身性エリマトーマス、混合性結合組織病
 - 次の疾患にかかったことがある人
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。
- 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、胃部膨満感、胸やけ、腹痛、 腹部膨満感、口内炎
精神神経	めまい
その他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ、しびれ感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

しょうじょう めいしょう 症 状 の 名 称	しょうじょう 症 状
ショック (アナフィラキシー)	ふくようご 服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しき等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、胸苦しき等があらわれる。
ひ ふ ねんまくがんしょうこうぐん 皮膚粘膜眼症 候 群 (スティーブンス・ジョンソン しょうこうぐん 症 候 群)、 ちゅうどくせいひょうひえししょう 中毒性表皮壊死症 (ライエル症 候 群)	こうねつ ともな ほっしん ほっせき やけどよう みず など はげ しょうじょう 高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症 状 が、 ぜんしん ひ くち め ねんまく 全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
かんきのうしょうがい 肝機能障 害	ぜんしん 全身のだるさ、黄疸 (皮ふや白目が黄色くなる) 等があらわれる
じんしょうがい 腎 障 害	にょうりょう へ ぜんしん およ ともな いきぐる 尿 量 が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しき、だるさ、 おしん おうと けつにょう たんぱくにょうなど 悪心・嘔吐、血 尿・蛋白尿 等があらわれる。
むきんせいずいまくえん 無菌性髄膜炎	くび ともな はげ ずつう ほつねつ おしん おうとなど しょうじょう 首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症 状 が あらわれる(このような症 状 は、特に全身性エリマトデス又は混合性結合 そしきびょう ちりょう う ひと おお ほうこく 組織 病 の治療を受けている人で多く報告されている。)
かんしつせいはいえん 間質性肺炎	から ともな ともな い き ぎ こきゅうこんなん はつねつなど 空せき (たんを伴わないせき) を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等が あらわれる。(これらの症 状 は、かぜの諸 症 状 と区別が難しいこ ともあり、空せき、発熱等の症 状 が悪化した場合にも、服用を中止す るとともに、い し しんりょう う 医師の診療を受けてください。)
ぜんそく	

- (2) 5～6回服用しても症 状 がよくならない場合 (特に熱が3日以上続いたり、又熱が反復したりするとき)

3. 次の症 状 があらわれることがあるので、このような症 状 の継続又は増 強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

べんぴ げり くち
便秘、下痢、口のかわき

ほかんおよび取り扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所にビンのフタをよくしめて保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 本剤をぬれた手で扱わないでください。ぬれた手で扱うと、糖衣にムラができたり、変色することがあります。
- (5) ビンの中のかき物は、輸送中に錠剤が破損するのを防ぐためのものです。開封後は不要となりますので取り除いてください。
- (6) 使用期限を過ぎたものは使用しないでください。また、使用期限内であっても、開封後は6ヶ月以内に服用してください。

出典
発行



製造販売元

Eisai 製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

かりゅう

商 品 名 : エスタックイブファイン <顆粒> (S.TAC EVE FINE <granule>)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいう

製品概要

こうのう

[効能]

かぜの諸症状 (発熱、悪寒、せき、たん、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み) の緩和

[成分と作用]

1包 (1. 3g) 中

成分	含量	作用
イブプロフェン	150mg	発熱、頭痛、のどの痛み等、熱と痛みをします。
アンブロキソール塩酸塩	15mg	せきの原因となるのどにからまるしつこいせきを出しやすくします。
ヨウ化イソプロパミド	2mg	鼻みずをおさえます。
ジヒドロコデインリン酸塩	8mg	せき中枢にはたらき、せきをします。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	20mg	気管支を広げ、呼吸を楽にして、せきをします。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	2.5mg	くしゃみ、鼻みず、鼻づまりの症状をおさえます。
無水カフェイン	25mg	頭痛をします。
アスコルビン酸 (ビタミン C)	100mg	かぜの時に消耗しやすいビタミンを補給します。
チアミン硝酸物 (ビタミン B1 硝酸塩)	8mg	

[用法・用量]

次の1回量を、1日3回、食後なるべく30分以内に服用します。

年齢	1回量
成人 (15才以上)	1包
15才未満	服用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 用法、用量を遵守してください。

しょうじょうちゅうい

使用上の注意

下記の注意をよく読んで正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

1. 次の人は服用しないでください。

- 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
- 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛剤を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- 15才未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン薬を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、
 乗物酔い薬、アレルギー用薬）
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
 （眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがあります。）
4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳をさけてください。
5. 服用時は飲酒しないでください。
6. 5日間を越えて服用しないでください

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に、医師又は薬剤師に相談してください。
- 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の症状がある人
高熱、排尿困難
 - 次の診断を受けた人
高血圧、心臓病、糖尿病、緑内障、肝臓病、腎臓病、甲状腺機能障害、
全身性エリマトーデス、混合性結合組織病
 - 次の疾患にかかったことがある人
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。
- 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、胃部膨満感、胸やけ、腹痛、 腹部膨満感、口内炎
精神神経	めまい
その他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ、しびれ感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

しょうじょう めいしょう 症 状 の 名 称	しょうじょう 症 状
ショック (アナフィラキシー)	ふくようご 服用後すぐにじんましん、ふしゅ 浮腫、むなぐる など 胸苦しさ等とともに、かおいろ 顔色が青白くなり、てあし 手足が冷たくなり、ひ 冷や汗、あせ 胸苦しさ等があらわれる。
ひ ふ ねんまくがんしょうこうぐん 皮膚粘膜眼症 候 群 (スティーブンス・ジョンソン しょうこうぐん 症 候 群)、 ちゅうどくせいひょうひえいしょう 中毒性表皮壊死症 (ライエル症 候 群)	こうねつ ともな ほっしん ほっせき やけどよう みず など はげ しょうじょう 高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症 状 が、 ぜんしん ひ くち め ねんまく 全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
かんきのうしょうがい 肝機能障 害	ぜんしん 全身のだるさ、おうだん 黄疸 (皮ふや白目が黄色くなる) など があらわれる
じんしょうがい 腎 障 害	にょうりょう 尿 量 が減り、ぜんしん 全身のむくみ及びこれらに伴っていきぐる 息苦しき、だるさ、 おしん おうと けつにょう たんぱくにょうなど 悪心・嘔吐、血 尿・蛋白 尿 等があらわれる。
むきんせいずいまくえん 無菌性髄膜炎	くび 首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、はげ 発熱、おしん おうとなど しょうじょう あらわれる(このような しょうじょう とく ぜんしんせい また こんごうせいけつごう 組織 病 の治療を受けている人で多く報告されている。)
かんしつせいはいえん 間質性肺炎	から 空せき (たんを伴わないせき) を伴い、い き ぎ 息切れ、こきゅうこんなん はつねつなど あらわれる。(これらの しょうじょう は、かぜの しょうじょう 諸 症 状 と区別が 難 しいこ ともあり、から はつねつなど しょうじょう あつか ばあい ふくよう ちゅうし ととともに、い し しんりょう う 医師の診療を受けてください。)
ぜんそく	

- (2) 5～6回服用しても しょうじょう 症 状 がよくならない場合 (特に熱が3日以上続いたり、又熱が反復したりするとき)

3. 次の しょうじょう 症 状 があらわれることがあるので、このような しょうじょう 症 状 の継続又は増 強が見られた場合には、服用
ちゅうし い し また やくざいし そうだん
を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

べんぴ げり くち
便秘、下痢、口のかわき

ほかんおよ とりあつ じょう ちゅうい 保管及び取扱い上の注意

- (1) こうおん 高温をさけ、ちやくしゃにつこう あ しつけ すく 場所 所にビンのフタをよくしめてして保管してください。
- (2) しょうに て とど ところ ほかん
小児の手の届かない 所 に保管してください。
- (3) た ようき い か ごよう げんいん ひんしつ か
他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) しょうきげん す しょう
使用期限を過ぎたものは使用しないでください。

出典
発行



製造販売元

エスエス製薬株式会社

(社) 神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

じょう

じょうざい

商品名:パブロンエースAX錠<錠剤>(PABRON ACE AX<Tablet>)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

こうのう

[効能]

かぜの諸症状(発熱、悪寒、せき、たん、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

[成分と作用]

1回(3錠)中

成分	含量	作用
イブプロフェン	150mg	発熱、頭痛、のどの痛み等、熱と痛みをしずめます。
アンブロキソール塩酸塩	15mg	せきの原因となるのどにからまるしつこいせきを出しやすくします。
ジヒドロコデインリン酸塩	8mg	せき中枢にはたらき、せきをしずめます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	20mg	気管支を広げ、呼吸を楽にして、せきをしずめます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	2.5mg	くしゃみ、鼻みず、鼻づまりの症状をおさえます。
無水カフェイン	25mg	頭痛をしずめます。
アスコルビン酸(ビタミンC)	166.7mg	かぜの時に消耗しやすいビタミンを補給します。
チアミン硝酸化物(ビタミンB1硝酸塩)	8mg	
リボフラビン(ビタミンB2)	4mg	

[用法・用量]

次の1回量を、1日3回、食後なるべく30分以内に服用します。

年齢	1回量
成人(15才以上)	3錠
15才未満	服用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用量を、遵守してください。
- 錠剤の取り出し方
錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り取り出して、服用してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると、食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

使用上の注意

下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

- 次の人は、服用しないでください。
 - 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 本剤、又は、他のかぜ薬、解熱鎮痛剤を服用して、ぜんそくを起こしたことがある人
 - 15才未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も、服用しないでください。
 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン薬を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、
 乗物酔い薬、アレルギー用薬）
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作を、しないでください。
 （眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状が、あらわれることがあります。）
4. 授乳中の人は、本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は、授乳をさけてください。
 （動物試験で、乳汁中への移行が認められています。）
5. 服用時は、飲酒しないでください。
6. 5日間を越えて、服用しないでください。

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に、医師又は薬剤師に相談してください。
- 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 本人、又は、家族がアレルギー体質の人
 - 薬により、アレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の症状がある人
 高熱、排尿困難
 - 次の診断を、受けた人
 高血圧、心臓病、糖尿病、緑内障、肝臓病、腎臓病、甲状腺機能障害、
 全身性エリマトーデス、混合性結合組織病
 - 次の病気（疾患）に、かかったことがある人
 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病
2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。
- 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、胃部膨満感、胸やけ 腹痛、腹部膨満感、口内炎
精神神経	めまい、しびれ感
その他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ

まれに、下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は、直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、じんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、胸苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で、多く報告されている。)
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。(これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けてください。)
ぜんそく	

- (2) 5～6回服用しても、症状がよくならない場合(特に、熱が3日以上続いたり、又熱が反復したりするとき)

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

便秘、下痢、口のかわき

4. 次の症状があらわれることがある。

本剤の服用により、尿が黄色になることがあります。これは本剤中のビタミンB2によるもので、ご心配ありません。

保管及び取扱い上の注意

- 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- 小児の手の届かない所に、保管してください。
- 他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、期限内であっても開封後は、6ヶ月以内に服用してください。(品質保持のため)



大正製薬株式会社

出典
発行

(社) 神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

びりゅう

商品名: パブロンエースAX <微粒> (PABRON ACE AX <Particle>)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう

製品概要

こうのう

[効能]

かぜの諸症状（発熱、悪寒、せき、たん、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

[成分と作用]

1包1.3g 中

成分	含量	作用
イブプロフェン	150mg	発熱、頭痛、のどの痛み等、熱と痛みをしずめます。
アンブロキソール塩酸塩	15mg	せきの原因となるのどにからまるしつこいせきを出しやすくします。
ジヒドロコデインリン酸塩	8mg	せき中枢にはたらき、せきをしずめます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	20mg	気管支を広げ、呼吸を楽にして、せきをしずめます。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	2.5mg	くしゃみ、鼻みず、鼻づまりの症状をおさえます
無水カフェイン	25mg	頭痛をしずめます。
アスコルビン酸 (ビタミン C)	166.7mg	かぜの時に消耗しやすいビタミンを補給します。
チアミン硝化物 (ビタミン B1 硝酸塩)	8mg	
リボフラビン (ビタミン B2)	4mg	

ようほうようりよう

[用法・用量]

次の1回量を1日3回、食後なるべく30分以内に服用します。

年齢	1回量
成人 (15才以上)	1包
15才未満	服用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用量を、遵守してください。

しょうじょうちゅうい

使用上の注意

下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

1. 次の人は、服用しないでください。

- 本剤によるアレルギー症状を、起こしたことがある人
- 本剤、又は、他のかぜ薬、解熱鎮痛剤を服用して、ぜんそくを起こしたことがある人
- 15才未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も、服用しないでください。
 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン薬を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、
 乗物酔い薬、アレルギー用薬）
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作を、しないでください。
 （眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状が、あらわれることがあります。）
4. 授乳中の人は、本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は、授乳をさけてください。
 （動物試験で、乳汁中への移行が認められています。）
5. 服用時は、飲酒しないでください。
6. 5日間を越えて、服用しないでください。

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に、医師又は薬剤師に相談してください。
- 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 本人、又は、家族がアレルギー体質の人
 - 薬により、アレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の症状がある人
 高熱、排尿困難
 - 次の診断を、受けた人
 高血圧、心臓病、糖尿病、緑内障、肝臓病、腎臓病、甲状腺機能障害、
 全身性エリマトーデス、混合性結合組織病
 - 次の病気に、かかったことがある人
 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病
2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。
- 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、浮腫
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、胃部膨満感、 胸やけ、腹痛、腹部膨満感、口内炎
精神神経	めまい、しびれ感
その他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ

まれに、下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は、直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、じんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、胸苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で、多く報告されている。)
間質性肺炎	空せき(たんを伴わないせき)を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。(これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けてください。)
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても、症状がよくならない場合(特に、熱が3日以上続いたり、又熱が反復したりするとき)

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

便秘、下痢、口のかわき

4. 次の症状があらわれることがある。

本剤の服用により、尿が黄色になることがあります。これは本剤中のビタミンB2によるもので、ご心配ありません。

保管及び取扱い上の注意

- 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- 小児の手の届かない所に、保管してください。
- 他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。



大正製薬株式会社

出典
発行

(社) 神奈川県薬剤師会

商品名:ガスター10 <散> (GASTER 10 <Powder>)
 ※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

[効能]

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき

<効能・効果に関する注意>

効能・効果に記載以外の症状では、本剤を服用しないでください。

[成分と作用]

1包(0.5g) 中

成分	含量	作用
ファモチジン	10mg	胃酸の出過ぎをコントロールします。

[用法・用量]

- 次の通り、水又はお湯で服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人 (15才以上、80歳未満)	1包	2回まで
小児 (15歳未満)	服用しないでください。	
高齢者 (80歳以上)		

この薬は決められた時間ごとに服用する薬ではなく、症状が出た時に服用する薬です。食事による影響はありませんので、食前、食後、食間いつ服用いただいても結構です。1回1包で約8時間胃酸の出過ぎをコントロールしますので、1日2回服用する場合は、8時間以上あけてください。

- 定められた用法・用量を遵守してください。
- 服用後8時間以上たっても症状が治まらない場合は、もう1包服用してください。
- 症状が治まった場合は、服用を止めてください。
- 3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師又は薬剤師に相談してください。
- 2週間を超えて続けて服用しないでください。

<用法・用量に関する注意>

- 本剤を服用の際は、アルコール飲料の摂取は控えてください。
 (お薬は、アルコール飲料と併用しないのが一般的です。)

か き ちゅうい よ ただ つか
下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(まも げんざい しょうじょう あつか ふくさよう じ こ お
守らないと、現在の 症 状 が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

1. 次の人は、服用しないでください。

- (1) ファモチジン等の H2 ブロッカーによりアレルギー 症 状 (しょうじょう たと ほっしん ほっせき
例えば、発疹・発赤、かゆみ、のど・
まぶた・口唇等のはれ) を起こしたことがある人 (こうしんなど お ひと)
- (2) 医療機関で、次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人 (いりょうきかん つぎ びょうき ちりょう いやくひん とうよ う ひと)
血液の病気、腎臓、肝臓の病気、心臓の病気、胃・十二指腸の病気、喘息・リウマチ等の免疫系 (けつえき びょうき じんぞう かんぞう びょうき しんぞう びょうき い じゅうにしちょう びょうき ぜんそく など めんえきけい
の病気、ステロイド剤、抗生物質、抗がん剤、アゾール系抗真菌剤 (びょうき けいこうしんきんざい
(白血球減少、血小板減少等を起こすことがあります。)
(じんぞう かんぞう びょうき も ばあい くすり はいせつ おく さよう つよ
(腎臓・肝臓の病気を持っている場合には、薬の排泄が遅れて作用が強くあらわれることがありま
す。)
(しんきんこうそく べんまくしょう しんきんしょうなど しんぞう びょうき も ばあい しんでんずいじょう ともな みやく
(心筋梗塞・弁膜症・心筋症等の心臓の病気を持っている場合には、心電図異常を伴う脈のみ
だれがあらわれることがあります。)
(い じゅうにしちょう びょうき ちりょう う ひと るいじ くすり しょう かのうせい
(胃・十二指腸の病気の治療を受けている人は、ファモチジンや類似の薬が処方されている可能性
が高いので、重複服用に気をつける必要があります。)
(たか じゅうふくふくよう き ひつよう
(アゾール系抗真菌剤の吸 収が低下して効果が減弱します。)
(けいこうしんきんざい きゅうしゅう てい か こうか げんじやく
(3) 医師から赤血球が少ない (貧血)、血小板が少ない、(血が止まりにくい、血が出やすい)、
(い し せつけきゅう すく ひんけつ けつしょうばん すく ち と
(白血球数が少ない等の血液異常を指摘されたことがある人 (はっけきゅうすう すく など けつえきじょう してき ひと
(本剤が引き金となって再び血液異常を引き起こす可能性があります。)
(ほんざい ひ がね ふたた けつえきじょう ひ お かのうせい
(4) 15才未満の小児及び高齢者 (80歳以上) (さいみまん しょうにおよ こうれいしゃ さいいじょう
(5) 妊婦又は妊娠していると思われる婦人並びに授乳婦 (にんぶまた にんしん おも ふじんなら じゅにゅうふ

2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。

た いちようやく
他の胃腸薬

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人、又は他の医薬品を服用している人 (い しまた し か い し ちりょう う ひと また た いやくひん ふくよう ひと)
- (2) 本人又は家族が、アレルギー体質の人 (ほんにんまた かぞく たいしつ ひと)
- (3) 薬によりアレルギー 症 状 を起こしたことがある人 (くすり しょうじょう お ひと)
- (4) 高齢者 (65歳以上) (一般的に高齢者は、生理機能が低下していることがあります。)
(こうれいしゃ さいいじょう いっぱんでき こうれいしゃ せいりきの う ていか)
- (5) 次の 症 状 がある人 (つぎ しょうじょう ひと)
のどの痛み、咳及び高熱 (これらの 症 状 のある人は、重篤な感染症の疑いがあり、血球数 (いた せきおよ こうねつ しょうじょう ひと じゅうとく かんせんしょう うたが けつきゅうすう
減少等の血液異常が認められます。服用前にこのような 症 状 があると、本剤の (げんしょうとう けつえきじょう みと ふくようま え しょうじょう ほんざい
服用によって 症 状 が増悪し、また本剤の副作用に気づくのが遅れることがあります。 (ふくよう しょうじょう ぞうあく ほんざい ふくさよう き おく
原因不明の体 重 減少、持続性の腹痛 (他の病気が原因であることがあります。)
(げんいんふめい たいじゅうげんしょう じぞくせい ふくつう た びょうき げんいん

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
循環器	脈のみだれ
精神神経	気がとおくなる感じ、ひきつけ（けいれん）
その他	気分が悪くなったり、だるくなったり、発熱してのどが痛いなど体調異常があらわれる。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症 状 の 名 称	症 状
ショック （アナフィラキシー）	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、胸苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 （スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
横紋筋融解症 （骨格筋）	手足やからだの筋肉が痛んだりこわばったりする、尿の色が赤褐色になる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、血尿、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる（歯茎の出血、鼻血等）、青あざができる（押しても消えない）等があらわれる。

(2) 誤って定められた用量を超えて服用してしまった場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

便秘、軟便、下痢、口のかわき

保管及び取扱い上の注意

- 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- 小児の手の届かない所に、保管してください。
- 他の容器に、入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- 使用期限を過ぎた製品は、服用しないでください。

出典
発行



製造販売元
第一三共ヘルスケア株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

じょう

商品名:ガスター10 <錠> (GASTER 10 <Tablet>)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう

製品概要

こうのう

[効能]

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき

<効能・効果に関する注意>

効能・効果に記載以外の症状では、本剤を服用しないでください。

[成分と作用]

1 錠 中

成分	含量	作用
ファモチジン	10mg	胃酸の出過ぎをコントロールします。

[用法・用量]

- 次の通り水又はお湯で服用してください。

年齢	1 回 量	1 日服用回数
成人 (15才以上、80歳未満)	1 錠	2 回まで
小児 (15 歳未満)	服用しないでください。	
高齢者 (80歳以上)		

この薬は決められた時間ごとに服用する薬ではなく、症状が出た時に服用する薬です。食事による影響はありませんので、食前、食後、食間いつ服用いただいても結構です。1回1錠で約8時間胃酸の出過ぎをコントロールしますので、1日2回服用する場合は8時間以上あけてください。

- 定められた用法、用量を遵守してください。
- 服用後8時間以上たっても症状が治まらない場合は、もう1錠服用してください。
- 症状が治まった場合は、服用を止めてください。
- 3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師又は薬剤師に相談してください。
- 2週間を超えて続けて服用しないでください。

<用法・用量に関する注意>

- 本剤を服用の際は、アルコール飲料の摂取は控えてください。
(お薬は、アルコール飲料と併用しないのが一般的です。)
- 錠剤の取り出し方
錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り取り出して服用してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

か き ちゅうい よ ただ つか
 下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(まも げんざい しょうじょう あつか ふくさよう じ こ お
 (守らないと、現在の 症 状 が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。))

1. 次の人は、服用しないでください。

(1) ファモチジン等の H2 ブロッカーによりアレルギー 症 状 (しょうじょう たと ほっしん ほっせき
 まぶた こうしんなど お
 (例えば、発疹・発赤、かゆみ、のど・まぶた・口唇等のはれ) を起こしたことがある人

(2) 医療機関で、次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人
 いりようき かん づぎ びょうき ちりょう いやくひん とうよ う
 けつえき びょうき じんぞう かんぞう びょうき しんぞう びょうき い じゅうにしちょう びょうき ぜんそく など めんえきけい
 血液の病気、腎臓、肝臓の病気、心臓の病気、胃・十二指腸の病気、喘息・リウマチ等の免疫系
 びょうき ざい こうせいぶつしつ こう ざい けいこうしんきんざい
 の病気、ステロイド剤、抗生物質、抗がん剤、アゾール系抗真菌剤

(白血球減少、血小板減少等を起こすことがあります。)

(じんぞう かんぞう びょうき も ばあい くすり はいせつ おく さよう つよ
 (腎臓・肝臓の病気を持っている場合には、薬の排泄が遅れて作用が強くなりあらわれることがあります。))

(しんきんこうそく べんまくしょう しんきんしょうなど しんぞう びょうき も ばあい しんでんずいじょう ともな みやく
 (心筋梗塞・弁膜症・心筋症等の心臓の病気を持っている場合には、心電図異常を伴う脈のみだれがあらわれることがあります。))

(い じゅうにしちょう びょうき ちりょう う ひと
 (胃・十二指腸の病気の治療を受けている人は、ファモチジンや類似の薬が処方されている可能性
 たか じゅうふくふくよう き ひつよう
 が高いので、重複服用に気をつける必要があります。))

(アゾール系抗真菌剤の吸 収が低下して効果が減弱します。)

(3) 医師から赤血球が少ない(貧血)、血小板が少ない、(血が止まりにくい、血が出やすい)、
 はつけきゅうすう すく など けつえきいじょう してき ひと
 白血球数が少ない等の血液異常を指摘されたことがある人

(ほんざい ひ がね ふたた けつえきいじょう ひ お かのうせい
 (本剤が引き金となって再び血液異常を引き起こす可能性があります。))

(4) 15才未満の小児及び高齢者(80歳以上)

(5) 妊婦又は妊娠していると思われる婦人並びに授乳婦

2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。

た いちようやく
 他の胃腸薬

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人、又は他の医薬品を服用している人

(2) 本人又は家族が、アレルギー体質の人

(3) 薬によりアレルギー 症 状 を起こしたことがある人

(4) 高齢者(65歳以上)(一般的に高齢者は、生理機能が低下していることがあります。)

(5) 次の 症 状 がある人

いた せきおよ こうねつ しょうじょう ひと じゅうとく かんせんしょう うたが けつきゅうすう
 のどの痛み、咳及び高熱(これらの 症 状 のある人は、重篤な感染症の疑いがあり、血球数
 げんしょうとう けつえきいじょう みと ふくようまえ しょうじょう ほんざい
 減少等の血液異常が認められます。服用前にこのような 症 状 があると、本剤の
 ふくよう しょうじょう ぞうあく ほんざい ふくさよう き おく
 服用によって 症 状 が増悪し、また本剤の副作用に気づくのが遅れることがあります。

げんいんふめい たいじゅうげんしょう じぞくせい ふくつう た びょうき げんいん
 原因不明の体 重 減少、持続性の腹痛(他の病気が原因であることがあります。))

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
循環器	脈のみだれ
精神神経	気がとおくなる感じ、ひきつけ（けいれん）
その他	気分が悪くなったり、だるくなったり、発熱してのどが痛いなど体調異常があらわれる。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、胸苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
横紋筋融解症 (骨格筋)	手足やからだの筋肉が痛んだりこわばったりする、尿の色が赤褐色になる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、血尿、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる（歯茎の出血、鼻血等）、青あざができる（押しても消えない）等があらわれる。

(2) 誤って定められた用量を超えて服用してしまった場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

便秘、軟便、下痢、口のかわき

保管及び取扱い上の注意

- 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- 小児の手の届かない所に、保管してください。
- 他の容器に、入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- 使用期限を過ぎた製品は、服用しないでください。

出典
発行



製造販売元
第一三共ヘルスケア株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

商品名:ガスター10S錠 (GASTER 10 S Tablet)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

[効能]

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき

<効能・効果に関する注意>

- 効能・効果に記載以外の症状では、本剤を服用しないでください。

[成分と作用]

1 錠 中

成分	含量	作用
ファモチジン	10mg	胃酸の出過ぎをコントロールします

[用法・用量]

次の通り、水又はお湯で服用してください。

口中で溶かして服用することもできます。

年齢	1 回 量	1 日服用回数
成人 (15才以上、80歳未満)	1 錠	2 回まで
小児 (15 歳未満)	服用しないでください。	
高齢者 (80歳以上)		

この薬は決められた時間ごとに服用する薬ではなく、症状が出た時に服用する薬です。食事による影響はありませんので、食前、食後、食間いつ服用いただいても結構です。1回1錠で約8時間胃酸の出過ぎをコントロールしますので、1日2回服用する場合は8時間以上あけてください。

- 定められた用法・用量を遵守してください。
- 服用後8時間以上たっても症状が治まらない場合は、もう1錠服用してください。
- 症状が治まった場合は、服用を止めてください。
- 3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師又は薬剤師に相談してください。
- 2週間を超えて続けて服用しないでください。

<用法・用量に関する注意>

- 本剤は口腔内で容易に崩壊しますが、口腔の粘膜から吸収されることはないで、唾液又は水で飲み込んでください。通常の錠剤と同様、水やお湯で服用しても効果に変わりはありません。
- 本剤を服用の際は、アルコール飲料の摂取は控えてください。
(お薬はアルコール飲料と併用しないのが一般的です。)
- 錠剤の取り出し方
図のように錠剤の入っている PTP シートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り取り出して服用してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

か き ちゅうい よ ただ つか
 下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(まも げんざい しょうじょう あつか ふくさよう じ こ お
 (守らないと、現在の 症 状 が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。))

1. 次の人は服用しないでください。

(1) ファモチジン等の H2 ブロッカーによりアレルギー 症 状 (しょうじょう たと ほっしん ほっせき
 まぶた こうしんなど のはれ) を起こしたことがある人 (ひと)

(2) 医療機関で次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人 (ひと)
 いりようき かん つぎ びょうき ちりょう いやくひん とうよ う
 けつえき びょうき じんぞう かんぞう びょうき しんぞう びょうき い じゅうにしちょう びょうき ぜんそく など めんえきけい
 血液の病気、腎臓・肝臓の病気、心臓の病気、胃・十二指腸の病気、喘息・リウマチ等の免疫系
 びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき びょうき
 の病気、ステロイド剤、抗生物質、抗がん剤、アゾール系抗真菌剤
 はつけきゅうげんしょう けっしょうばんげんしょうなど お
 (白血球減少、血小板減少等を起こすことがあります。)

(じんぞう かんぞう びょうき も ばあい くすり はいせつ おく きょう つよ
 (腎臓・肝臓の病気を持っている場合には、薬の排泄が遅れて作用が強くあらわれることがあります。))

(しんきんこうそく べんまくしょう しんきんしょうなど しんぞう びょうき も ばあい しんでんずいじょう ともな みやく
 (心筋梗塞・弁膜症・心筋症等の心臓の病気を持っている場合には、心電図異常を伴う脈のみ
 だれがあらわれることがあります。))

(い じゅうにしちょう びょうき ちりょう う ひと るいじ くすり しょう かのうせい
 (胃・十二指腸の病気の治療を受けている人は、ファモチジンや類似の薬が処方されている可能性
 たか じゅうふくふくよう き ひつよう
 が高いので、重複服用に気をつける必要があります。))

(けいこうしんきんざい きゅうしゅう ていか こうか げんじやく
 (アゾール系抗真菌剤の吸収が低下して効果が減弱します。))

(3) 医師から赤血球が少ない(貧血)、血小板が少ない(血が止まりにくい、血が出やすい)、白血球数
 い し せつけきゅう すく ひんけつ けっしょうばん すく ち と ち で はつけきゅうそう
 が少ない等の血液異常を指摘されたことがある人 (ひと)
 ほんざい ひ がね ふたた けつえきじょう ひ お かのうせい
 (本剤が引き金となって再び血液異常を引き起こす可能性があります。))

(4) フェニルケトン尿症の人 (本剤はアスパルテーム (L-フェニルアラニン化合物) を含んでいま
 す。))

(5) 15才未満の小児及び高齢者 (80歳以上)

(6) 妊婦又は妊娠していると思われる婦人並びに授乳婦

2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。

た いちょうやく
 他の胃腸薬

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人、又は他の医薬品を服用している人 (ひと)

(2) 本人又は家族が、アレルギー体質の人 (ひと)

(3) 薬によりアレルギー 症 状 を起こしたことがある人 (ひと)

(4) 高齢者 (65歳以上) (一般的に高齢者は、生理機能が低下していることがあります。))

(5) 次の 症 状 がある人 (ひと)

のどの痛み、咳及び高熱 (これらの 症 状 のある人は、重篤な感染症の疑いがあり、血球数
 げんしょうとう けつえきじょう みと ふくようまえ しょうじょう ほんざい
 減少等の血液異常が認められることがあります。服用前にこのような 症 状 があると、本剤の
 ふくよう しょうじょう ぞうあく ほんざい ふくさよう き おく
 服用によって 症 状 が増悪し、また本剤の副作用に気づくのが遅れることがあります。
 げんいんふめい たいじゅうげんしょう じぞくせい ふくつう た びょうき げんいん
 原因不明の体重減少、持続性の腹痛 (他の病気が原因であることがあります。))

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
循環器	脈のみだれ
精神神経	気がとおくなる感じ、ひきつけ（けいれん）
その他	気分が悪くなったり、だるくなったり、発熱してのどが痛いなど体調異常があらわれる。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
ショック（アナフィラキシー）	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、胸苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブン・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
おうもんきんゆうかいしょう 横紋筋融解症（骨格筋）	手足やからだの筋肉が痛んだりこわばったりする、尿の色が赤褐色になる。
かんきのうしょうがい 肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる
じんしょうがい 腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、血尿、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
けつえきしょうがい 血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる（歯茎の出血、鼻血等）、青あざができる（押しても色が消えない）等があらわれる。

(2) 誤って定められた用量を超えて服用してしまった場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

便秘、軟便、下痢、口のかわき

保管及び取扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) 他の容器に、入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) 使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。

出典 発行 製造販売元 第一三共ヘルスケア株式会社 (社) 神奈川県薬剤師会

商品名:ザジテン AL 鼻炎カプセル (ZADITEN AL Rhinitis Capsule)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう
製品概要こうのう
[効能]

花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような鼻のアレルギー 症 状 の緩和：

くしゃみ、鼻水（鼻汁過多）、鼻づまり

せいぶん さよう
[成分と作用]

1 カプセル 中

せいぶん 成分	がんによう 含 量
ケトチフェンフマル酸塩 （ケトチフェンとして）	1.38mg (1.0mg)

ようほう ようりよう
[用法・用量]

次の 1 回 量を 1 日 2 回、朝食後および就寝前に服用してください。

ねんれい 年 齢	いつかいりよう 1 回 量
せいじん さいいじよう 成人（15才以上）	1 カプセル
さいみまん 15才未満	服用しないこと

ようほう ようりよう かん ちゅうい
<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用量を遵守してください。
- 1 週 間 位 服用しても 症 状 がよくならない場合は、直ちに服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。（個人差等により薬の効果があらわれるまでに2 週 間 位 かかる場合もあります。）
- カプセルの取り出し方

カプセル剤の入っている PTP シートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り取り出して服用してください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると、食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）

しょうじよう ちゅうい
使用上の注意か き ちゅうい よ ただ つか
下記の注意をよく読んで正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(守らないと現在の 症 状 が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

1. 次の人は服用しないでください

- 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
- 15才未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。

他のアレルギー用 薬（皮膚疾患用 薬、鼻炎用内服薬を含む）、抗ヒスタミン薬を含有する内服薬（かぜ 薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い 薬、催眠鎮静薬）

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

(眠くなる場合があります。)

4. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合には授乳を避けてください。

(動物試験で乳汁中への移行が認められています。)

5. 服用時は飲酒しないでください。

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人

(2) 減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人

(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人

(4) 高齢者

(5) 本人又は家族がアレルギー体質の人

(6) アレルギーによる症状か他の原因による症状がはっきりしない人

(7) 次の診断を受けた人

気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎、てんかん

(8) 次の症状のある人

排尿困難

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮膚	紅斑・発疹・浮腫、かゆみ
鼻	鼻血
精神神経系	めまい、ふらつき、だるさ、頭痛、味覚異常、しびれ感
消化器	おしん・おうと、食欲不振、胃部不快感、腹痛、口内炎
その他	動悸、ほてり、頻尿、排尿痛、血尿、残尿感、月経異常、体重増加

(2) 1週間位服用しても症状がよくなる場合

3. まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症 状 の 名 称	症 状
中枢神経症状	一過性の意識消失、けいれん、興奮等があらわれる
肝機能障害	発熱、発疹、全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。

4. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

口のかわき、便秘、下痢、眠気

5. 次の場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

症状の改善がみられても服用期間が2週間を超える場合

ほかんおよ とりあつか じょう ちゅうい
保管及び取扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) 他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

出典 製造販売元
発行 ノバルティス ファーマ株式会社
(社) 神奈川県薬剤師会

商品名: パブロン鼻炎カプセル Z (PABRON Rhinitis Capsule Z)
 ※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

[効能]

花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような鼻のアレルギー症状の緩和：
 くしゃみ、鼻水（鼻汁過多）、鼻づまり

[成分と作用]

1 カプセル中

成分	含量
ケトチフェンフマル酸塩 （ケトチフェンとして）	1.38mg (1.0mg)

[用法・用量]

次の1回量を1日2回、朝食後および就寝前に服用してください。

年齢	1回量
成人（15才以上）	1 カプセル
15才未満	服用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用量を遵守してください。
- 1週間位服用しても症状がよくなりえない場合は、直ちに服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。（個人差等により薬の効果があらわれるまでに2週間位かかる場合もあります。）
- カプセルの取り出し方

カプセル剤の入っている PTP シートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り取り出して服用してください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）

使用上の注意

下記の注意をよく読んで正しくお使いください。

■ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。）

1. 次の人は服用しないでください。

- 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人（本剤の使用により再びアレルギー症状を起こす可能性があります。）
- 15才未満の小児

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。

他のアレルギー用薬（皮膚疾患用薬、鼻炎用内服薬を含む）、抗ヒスタミン薬を含有する内服薬（かぜ薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い薬、催眠鎮静薬）

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

（眠くなる場合があります。）

4. 授乳中の人には本剤を服用しないか、本剤を服用する場合には授乳を避けてください。
(動物試験で乳汁中への移行が認められています。)

5. 服用時は飲酒しないでください。

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。
- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - (2) 減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人
 - (3) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (4) 高齢者
 - (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人（アレルギー体質の人は本剤の使用により、アレルギー症状を起こす可能性があります。)
 - (6) アレルギーによる症状か他の原因による症状がはっきりしない人
 - (7) 次の診断を受けた人
気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎、てんかん
 - (8) 次の症状のある人
排尿困難
2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。
- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	紅斑・発疹・浮腫、かゆみ
鼻	鼻血
精神神経系	めまい、ふらつき、だるさ、頭痛、味覚異常、しびれ感
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹痛、口内炎
その他	動悸、ほてり、頻尿、排尿痛、血尿、残尿感、月経異常、体重増加

- (2) 1週間位服用しても、症状がよくなる場合

3. まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症状
中枢神経症状	一過性の意識消失、けいれん、興奮等があらわれる
肝機能障害	発熱、発疹、全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる。

4. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。
- 口のかわき、便秘、下痢、眠気
5. 次の場合は、医師又は薬剤師に相談してください。
- 症状の改善がみられても、服用期間が2週間を超える場合

保管及び取扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) 他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は、服用しないでください。

発売元
出典 大正製薬株式会社
発行 (社) 神奈川県薬剤師会

しょうひんめい

びえん

商品名：ザジテン AL 鼻炎スプレー（ZADITEN AL Rhinitis Spray）

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

せいひんがいよう

製品概要

こうのう

[効能]

花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような鼻のアレルギー 症 状 の緩和：

くしゃみ、鼻水（鼻汁過多）、鼻づまり

[成分と作用]

100mL 中（包装：8mL/本）

成分	含 量
ケトチフェンフマル酸塩	75.6mg

[用法・用量]

次の 1 回 量を 1 日 4 回（朝・昼・夕方および就 寝 前）両鼻腔内に噴霧してください。

（1 噴霧でケトチフェンとして 0.05mg）

年齢	1 回 量
成人（15才以上）及び 7歳以上の小児	両鼻腔内に 1 度ずつ
7才未満	使用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用 量を 遵 守 してください。
- 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもと使用させてください。
- 点鼻用にのみ使用してください。
- 目に入れないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水かぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診 療 を受けてください。

[使い方]

初めてご使用の際は、容器の構造上薬液が霧 状 になりにくいので、ノズル（容器の先端部分）を上に向け、薬液が霧 状 になるまで 5 回程度押してください。

* 薬液が霧 状 に出れば投与準備は完了です。

- 使用前に鼻をかむか、鼻を洗 浄 してください。
- キャップをはずしてください。
- まっすぐ上向きに持って、ノズルを軽く鼻腔内に入れてください。
- レバーを指で下まで、強くすばやく押してください。（弱くゆっくり押すと、薬液が霧 状 にならず、液だれの原因となります。）
- 噴霧後は薬剤を鼻の奥まで広く行きわたらせるために、頭 を後ろに 傾 けた 状態 で、数 秒 間、鼻で静かに 吸 引してください。
- 使用後はノズル付近を清潔なティッシュペーパー等でふき、キャップをしてください。

* ノズルの先端を針等で突くのは、折れたとき大変危険ですでおやめください。



使用上の注意

下記の注意をよく読んで正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

1. 次の人は使用しないでください。

・7才未満の小児

2. 使用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

(眠くなる場合があります。)

3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合には授乳を避けてください。

(動物試験で乳汁中への移行が認められています。)

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人

(2) 減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人

(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人

(4) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人

(5) アレルギーによる症状か他の原因による症状がはっきりしない人

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 使用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
はな 鼻	かんそうかん しげきかん 乾燥感、刺激感
せいしんしんけいけい 精神神経系	だつりよくかん ずつう 脱力感、頭痛

(2) 1週間位服用しても症状がよくなる場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、使用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

眠気

4. 次の場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

症状の改善がみられても服用期間が2週間を超える場合

ほかんおよ とりあつか じょう ちゅうい
保管及び取扱い上の注意

- (1) こうおん ちよくしやにつこう あ しつげ すく すず ところ ほかん
高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- (2) しょうに て とど ところ ほかん
小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) た ようき い か ごよう げんいん ひんしつ か
他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4) 他の人と共用しないでください。
- (5) しょうきげん す せいひんしょう しょうきげんない かいふうご
使用期限を過ぎた製品使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は、なるべく
速やかに使用してください。

製造販売元
ノバルティス ファーマ株式会社
出典
発行 (社) 神奈川県薬剤師会

商品名: パブロン点鼻Z <鼻炎スプレー> (PABRON Nasal Spray Z)
 ※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

[効能]

花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような鼻のアレルギー症状の緩和：
 くしゃみ、鼻水（鼻汁過多）、鼻づまり

[成分と作用]

100mL 中（包装：8mL/本）

成分	含量
ケトチフェンフマル酸塩	75.6mg

[用法・用量]

次の1回量を、1日4回（朝・昼・夕方および就寝前）両鼻腔内に噴霧してください。

（1噴霧でケトチフェンとして0.05mg）

年齢	1回量
成人（15才以上）及び 7歳以上の小児	両鼻腔内に1度ずつ
7才未満	使用しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用量を遵守してください。
- 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもと使用させてください。
- 点鼻用에만使用してください。
- 目に入れないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水かぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。

使い方

初めてご使用の際は、容器の構造上薬液が霧状になりにくいので、ノズル（容器の先端部分）を上に向け、薬液が霧状になるまで5回程度押ししてください。

*薬液が霧状に出れば投与準備は完了です。

- 使用前に鼻をかむか、鼻を洗浄してください。
- キャップをはずしてください。
- まっすぐ上向きに持って、ノズルを軽く鼻腔内に入れてください。
- レバーを指で下まで、強くすばやく押ししてください。（弱くゆっくり押すと、薬液が霧状にならず、液だれの原因となります。）
- 噴霧後は薬剤を鼻の奥まで広く行きわたらせるために、頭を後ろに傾けた状態で、数秒間、鼻で静かに吸引してください。
- 使用後はノズル付近を清潔なティッシュペーパー等でふき、キャップをしてください。
 *ノズルの先端を針等で突くのは、折れたとき大変危険ですのでおやめください。

【使い方】

★初めてご使用の際は、容器の構造上薬液が霧状になりにくいので、ノズル（容器の先端部分）を上に向け、薬液が霧状になるまで5回程度押してください。



①使用前に鼻をかむか、鼻を洗淨してください。



④レバーを指で下まで、強くすばやく押してください。（弱くゆっくり押すと、薬液が霧状にならず、液だれの原因となります）



②キャップをはずしてください。



⑤噴霧後は薬剤を鼻の奥まで広く行きわたらせるために、頭を後ろに傾けた状態で、数秒間、鼻で静かに吸引してください。



③まっすぐ上向きに持って、ノズルを軽く鼻腔内に入れてください。



⑥使用後は、ノズル付近を清潔なティッシュペーパー等でふき、キャップをしてください。

ノズルの先端を針等で突くのは折れた時大変危険ですのでおやめください。

使用上の注意

下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

（守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。）

1. 次の人は使用しないでください。

・7才未満の小児

2. 使用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

（眠くなる場合があります。）

3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合には授乳を避けてください。

（動物試験で乳汁中への移行が認められています。）

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人

(2) 減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人

(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人

(4) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人

(5) アレルギーによる症状か他の原因による症状がはっきりしない人

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 使用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
鼻	乾燥感、刺激感
精神神経系	だつりよくかん、脱力感、頭痛

(2) 1週間位使用しても、症状がよくなる場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、使用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

眠気

4. 次の場合は、医師又は薬剤師に相談してください。
- 症状の改善がみられても使用期間が2週間を超える場合

保管及び取扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) 他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 他の人と共用しないでください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は、なるべく速やかに使用してください。(品質保持のため)

発 売 元
大正製薬株式会社
出典
発行 (社) 神奈川県薬剤師会

商品名: ザジテン AL点眼薬 <点眼液> (ZADITEN AL Eye Drop)
 ※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

[効能]

花粉ハウスダスト(室内塵)などによる次のような目のアレルギー症状の緩和:
 目の充血、目のかゆみ(目やにの多いとき)、なみだ目、異物感(コロコロする感じ)

[成分と作用]

100mL中(包装: 8mL/本)

成分	含量
ケトチフェンフマル酸塩 (ケトチフェンとして)	69mg (50mg)

[用法・用量]

次の1回量を1日4回(朝・昼・夕方および就寝前)点眼してください。

年齢	1回量
成人(15才以上)及び 1歳以上の小児	1～2滴
1才未満	点眼しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法、用量を遵守してください。
- 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもと使用させてください。
- 目の周囲に流れ出た液はすぐにふきとってください。
- 容器の先が、まぶたやまつ毛に触れると、目やにや雑菌等のため、薬液が汚染又は混濁することがあるので注意してください。また、混濁したものは使用しないでください。
- コンタクトレンズの装着液として、また、コンタクトレンズを装着したまま使用しないでください。
- 本剤は点眼用にのみ使用してください。

使い方

- 使用する前に手をきれいに洗ってください。
- 下まぶたを軽く押し下げ、真上から1～2滴を点眼してください。
容器の先がまぶたやまつ毛に直接触れないように、また、使用後も容器の先端やキャップは清潔に取り扱ってください。
- 滴下した後、目を閉じて、液を目にいきわたらせてください。
使用後はキャップをしっかりと閉めてください。
- 目の周囲に流れ出た液はすぐにふきとってください。



しょうじょう ちゅうい
使用上の注意

か き ちゅうい よ ただ つか
下記の注意をよく読んで正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(守らないと現在の症 状 が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

1. 次の人は使用しないでください。

- 本剤によるアレルギー 症 状 を起こしたことがある人。
- 1才未満の小児

2. 点鼻薬と併用する場合には、使用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

(眠気があらわれることがあります。)

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
- (2) 減感作療 法 等、アレルギーの治療を受けている人
- (3) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (4) 薬によりアレルギー 症 状 を起こしたことがある人
- (5) 次の 症 状 のある人

はげしい目の痛み

- (6) アレルギーによる 症 状 か他の原因による 症 状 かはつきりしない人

特に次のような場合はアレルギーによるものとは断定できないため、使用前に医師にご相談ください。

- 片方の目だけに 症 状 がある場合
- 目の 症 状 のみで、鼻には 症 状 がみられない場合
- 視力にも影 響 がある場合
- 目やにの多い場合

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 使用後、次の 症 状 があらわれた場合

かんけいぶ い 関係部位	しょうじょう 症 状
ひ 皮ふ**	かゆみ
め 目**	め じゅうけつ しげきかん いた 目の充 血、刺激感*、痛み*、はれ*、かゆみ**、目のまわ りを含む
た その他	ねむけ 眠気

**人によっては、使用開始初期（1～2日目）にまぶた、目の周囲、頬などに、ひどいかゆみ、はれ、痛みなどの 症 状 があらわれることがあります。

- (2) 目のかすみが改善されない場合

- (3) 1週 間 位 使用しても 症 状 がよくならない場合

3. 次の場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

症 状 の改善がみられても使用期間が2週 間 を超える場合

保管及び取扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所にキャップをきちんと閉めて保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) 他の人と共用しないでください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。また、使用期限内であっても、開封後は、なるべく速やかに使用してください。

製造販売元

出典 ノバルティス ファーマ株式会社
発行 (社) 神奈川県薬剤師会

商品名:アイリスアレスト <点眼液> (IRIS ARREST <Eye Drop>)

※下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

製品概要

こうのう

[効能]

花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような目のアレルギー症状の緩和：
目の充血、目のかゆみ（目やにの多いとき）、なみだ目、異物感（コロコロする感じ）

[成分と作用]

100mL 中（包装：10mL/本）

成分	含量
ケトチフェンフマル酸塩 （ケトチフェンとして）	69mg (50mg)

ようほう ようりよう

[用法・用量]

次の1回量を1日4回（朝・昼・夕方および就寝前）点眼してください。

年齢	1回量
成人（15才以上）及び 1歳以上の小児	1～2滴
1才未満	点眼しないこと

<用法・用量に関する注意>

- 定められた用法・用量を遵守してください。
- 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもと使用させてください。
- 目の周囲に流れ出た液はすぐにふきとってください。
- 容器の先が、まぶたやまつ毛に触れると、目やにや雑菌等のため、薬液が汚染又は混濁することがあるので注意してください。また、混濁したものは使用しないでください。
- コンタクトレンズの装着液として、また、コンタクトレンズを装着したまま使用しないでください。
- 本剤は点眼用にのみ使用してください。

使い方

- 使用する前に手をきれいに洗ってください。
- 下まぶたを軽く押し下げ、真上から1～2滴を点眼してください。
容器の先がまぶたやまつ毛に直接触れないように、また、使用後も容器の先端やキャップは清潔に取り扱ってください。
- 滴下した後、目を閉じて、液を目にいきわたらせてください。
使用後はキャップをしっかりと閉めてください。
- 目の周囲に流れ出た液はすぐにふきとってください。

しょうじょう ちゅうい
使用上の注意

か き ちゅうい よ ただ つか
下記の注意をよく読んで、正しくお使いください。

■ してはいけないこと

(まも げんざい しょうじょう あつか ふくさよう じ こ お
守らないと、現在の症状が悪化したり、副作用・事故を起こしやすくなります。)

1. 次の人は、使用しないでください。

- 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人(本剤の使用により再びアレルギー症状を起こす可能性があります。)
- 1才未満の小児

2. 点鼻薬と併用する場合には、使用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

(ねむけ
眠気が、あらわれることがあります。)

■ 相談すること

1. 次の人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
- (2) 減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人
- (3) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (4) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (5) 次の症状のある人
はげしい目の痛み
- (6) アレルギーによる症状か他の原因による症状かはっきりしない人
特に、次のような場合は、アレルギーによるものとは断定できないため、使用前に医師にご相談ください。
かたほう め しょうじょう
• 片方の目だけに症状がある場合
め しょうじょう はな しょうじょう ばあい
• 目の症状のみで、鼻には症状がみられない場合
しりよく えいきょう ばあい
• 視力にも影響がある場合
め おお ばあい
• 目やにの多い場合

2. 次の場合、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 使用後、次の症状があらわれた場合

かんけいぶい 関係部位	しょうじょう 症状
ひ 皮ふ**	かゆみ
め 目**	め じゅうけつ しげきかん いた め 目の充血、刺激感*、痛み*、はれ*、かゆみ**、目のまわりを含む
た その他	ねむけ 眠気

* **人によっては、使用開始初期(1～2日目)にまぶた、目の周囲、頬などにひどいかゆみ、はれ、痛みなどの症状があらわれることがある。

- (2) 目のかすみ改善されない場合
- (3) 1週間位使用しても症状がよくなる場合

3. 次の場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

しょうじょう かいぜん きかん しゅうかん こ ばあい
症状の改善がみられても使用期間が2週間を超える場合

ほかんおよ とりあつか じょう ちゅうい
保管及び取扱い上の注意

- (1) 高温をさけ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、キャップをきちんと閉めて保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に、保管してください。
- (3) 他の容器に、入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります)
- (4) 他の人と共用しないでください。
- (5) 車のダッシュボード等、高温下に放置しないでください。(容器の変形や薬液の品質が劣化することがあります。)
- (6) 使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後は、なるべく速やかに使用してください。(品質保持のため)

発 売 元
大正製薬株式会社
出典
発行 (社) 神奈川県薬剤師会